

防犯住宅を考える

マンション物件の防犯への取り組みについて

セキュリオン・24株式会社
専務取締役技術本部長

小河原 英二

当社は過去10年以上にわたりマンション物件の防犯設備に取り組んでまいりました。特に防犯カメラを活用したシステムによって、共有部分の画像監視、戸別のセキュリティに効果をあげて、住民の皆さんに評価していただいております。本稿では、最新の物件を事例として取り上げ、インターネットを使ったセキュリティシステムについてご説明致します。

1. 共有部分の画像監視と録画

規模にかかわらずマンションなど集合住宅の共有部分には不特定多数の人が出入りするため、カメラ画像を記録することにより、不法行為や犯罪の発生を事前に抑止する効果があります。また万一事件・事故が発生した際には、警察への画像提供などにより犯人逮捕の有力な情報として役立つことは、最近のマスコミによる報道事案などで広く認知されています。

マンションなど集合住宅の共有部分にカメラを設置する場合、主に次の部分が対象と考えられます。

- (1) エントランス部分：住宅への出入りを撮影・記録します。出入りする人の表情、服装などを明確に記録できるようなカメラ位置を検討します。
- (2) 集合ポスト部分：エントランスに付属して設置されている集合ポスト部分への出入りとポストへの投函状況を撮影・記録します。住民の重要な情報が保管される場所であり、カメラの存在が厳格な管理に役立ちます。
- (3) エレベーターの箱内：一時的であっても密室となるエレベーターの箱内での犯罪・事故を防ぐために、カメラを設置することが大いに役立ちます。
- (4) 駐車場・駐輪場：駐車場にカメラを設置することで、車上狙いなどの盗難対策、自損・他損の事故の状況を記録し、事後処理に役立てます。
- (5) ゴミ捨て場：ゴミ出しのルールを遵守し、住民が気持よく毎日を過ごすことができる環境を守る上で、カメラ設置が効果を上げます。

以上のチェック項目によって、カメラの設置位置・台数を決めます。決定した台数に応じて、画像を録画する記録装置の仕様が固まります。

カメラは従来同軸ケーブルを使って画像を伝えるアナログカメラが使われましたが、当社は最近構内L A N（域内ネットワーク）を使うIPカメラを活用しています。IPカメラは、管理人室等に設置する録画装置とL A Nケーブルで接続。電源もPoEと呼ばれるL A Nケーブル内で電力を供給する仕組みを使うと、配線が1本だけで済みます。IPカメラのシステムを使うと、管理人室の記録装置にて録画するだけでなく、必要なマンション内の場所にライブ画像をモニターに表示させることなどが、容易に可能となります。

また、後述する非常通報設備を警備会社から管理するため、インターネットと接続することにより、非常に有効な通信インフラとなります。

2. 共有部分の非常通報設備＝ウルトラ防犯カメラ（防犯灯）について

当社は1昨年にウルトラ防犯灯（概念図参照）を発売、運用を開始しました。

ウルトラ防犯灯はカメラと非常通報装置（緊急押しボタン）、双方向音声通話装置の組み合わせで、事故や犯罪などの緊急事態が発生したとき、気づいた人が緊急押しボタンを押すと、即座に警備会社に通報され、音声通話装置で状況を説明して支援を求めるすることができます。警備会社は現場に設置されている可動式カメラを遠隔操作して、通報者を確認しながら、状況を画像でリアルに把握することができるものです。また、現場に犯人と思われる人物がいる場合、警備会社の管制員がスピーカーを通じて呼びかけ、威嚇などを行うことができます。当社は画像・音声・緊急通報ボタンの組み合わせで警備を行うシステムについては、特許を取得しております（特許3177647号）。

この設備は、写真のように防犯灯の形で、マンションへのアプローチに設置できるほか、カメラと通報装置部分をセパレート型にしたタイプでもご利用いただけます。エントランス、各フロアで必要な場所などに設置することができます。

3. 戸別のカメラセキュリティについて（IPカメラ）

マンションなど集合住宅にインターネット回線の設備が整ってきたこの頃、戸別のホームセキュリティにも多機能を持つ、IPカメラが大いに力を発揮します。

当社のIPカメラを設置してインターネットに接続いただくと、以下の機能をご利用いただけます。

- (1) お出かけ先から、アイホーン（i-phone）アイパッド（i-Pad）、パソコンなどにより御留守のご自宅の画像をリアルタイムで見ることができます。
- (2) IPカメラにはモーション（動き）感知機能があります。不在の部屋に人が侵入した場合に、登録した携帯電話などのアドレスに侵入通知メールを送信します。
- (3) カメラにはSDメモリーカードが内蔵されています。動きを感知した場合に、画像を保存できるので、あとからパソコンにメモリーカードを差し込んで確認したり、インターネットに接続したパソコンからも同様に確認することができます。
- (4) ご希望のお客様には、IPカメラにカードリーダー、センサーを更に接続して機械警備を実施することも可能です。

4. ネットワーク環境と録画の保存について

これまでカメラの録画は管理人室などに設置した録画装置に保存することが常識でした。当社では、この常識を覆して、当社の録画保存センターにお客さまの画像を一定期間保存するサービスを提供致します。このサービスはIPカメラの採用により初めて現実的になりました。

なお、このサービスをご利用いただくためには、マンション・集合住宅のネットワーク環境が、光回線であることが必要です。画像データをスムーズに転送して保存するため、最近のネットワーク環境は急速に整備されてまいりました。詳しくは是非ご相談ください。

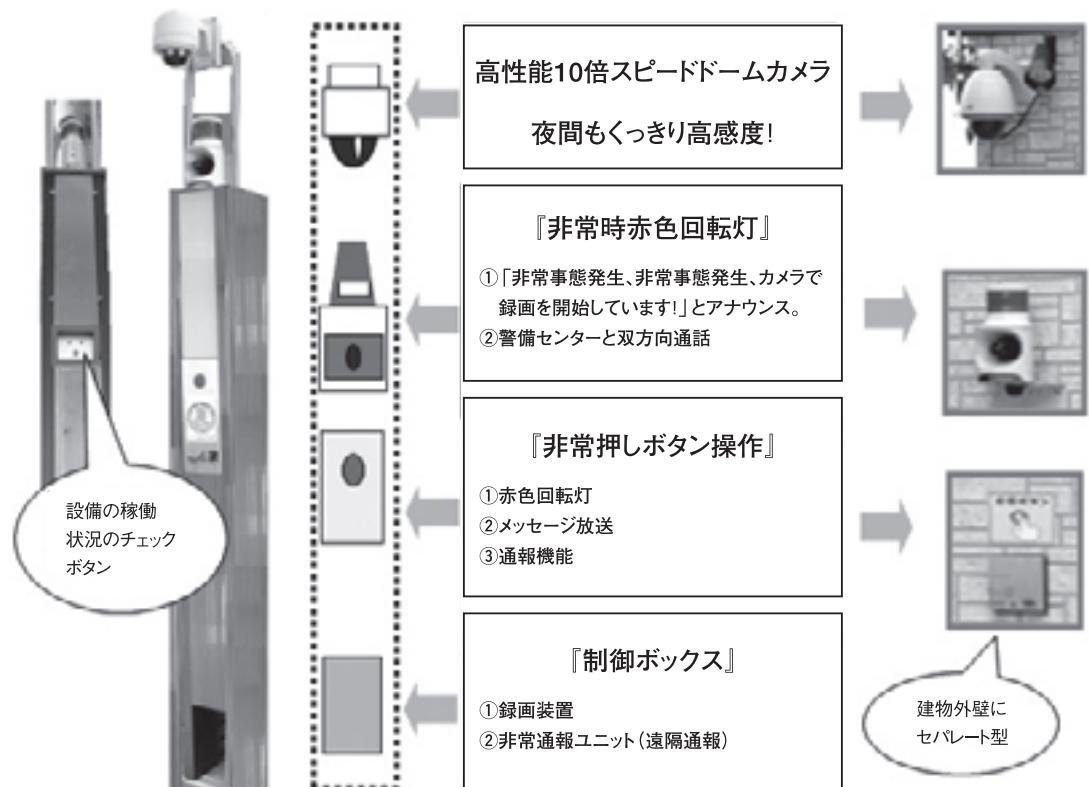
セキュリオン・24株式会社

電話042.646.0024

ウルトラ防犯灯の概要

学童の安全確保、地域の防犯、不法投棄防止に

セキュリオン・24 画像監視特許システム(特許3177647号)



■特許「遠隔画像監視システム」音声
双方向通話で対応ができます。

■機器を分離して建物外壁に設置
するセパレート型も施工可能です。

■単独で動作する「スタンドアロン型」と
しても利用可能。

■「従来の常識を破る価格!」
お問合せください。

〒192-0045 東京都八王子市大和田町
5-25-18 セキュリオン・24ビル

セキュリオン・24 株式会社

Tel:042-646-0024 Fax:042-646-2401
<http://www.securion24.co.jp>
Mail:info@securion24.co.jp